

観察会報告
井川県民の森 キノコ観察会
横山謙二



みんなで集めたキノコ



サンゴハリタケ

静岡県内外で大きな被害があった台風15号が通過して1週間あまりの10月2日(日)に、井川県民の森にてキノコの観察会を行いました。この頃の静岡市内は、まだまだ台風15号による大雨の被害が残り、特に山間部では、崩落などで通行止めになっているところが多くあり、観察会を行うことができるか心配でした。

私は、観察会の2時間前に到着できるように家をでて、みなさんが無事にたどり着けるか、道路状況を確認しながら県民の森に向かいました。

途中の道路は、ところどころ崩れたところがありましたが、無事にたどり着くことができ、観察会が無事行えそうでした。

早く着き過ぎたので、参加者の皆さんが到着するまでの間、集合場所の周囲でキノコを集めておくことにしました。しかし、周囲を散策しましたが、あまりキノコが見つかりません。2時間程、キノコ採集しましたが、わずかしら見つけれませんでした。

参加者の皆さんが徐々に集まりだしたころ、講師の「静岡木の子の会」の池ヶ谷さんも到着しました。さっそく池ヶ谷さんに、事前に集めたキノコの同定をしてもらいました。その結果、カワムラフウセンタケ、アカモミタケ、オキナクサハツ

(毒)などの7種でした。そのキノコを集めた参加者の皆さんにも見せ、各種の特徴など池ヶ谷さんの説明をしてもらいました。その後、観察会を始めました。

まずは集合場所周辺で時間をかけて、各自で採集を開始しました。しかし、やはりキノコがあまり見られません。

その後、昨年観察会をした場所に移動しようとしたが、途中通行止めになっており、前回観察会を行ったところまでは、行けそうにありませんでした。そこで、昼食をとり、通行止め周辺で、キノコを探すことになりました。

各自ちらばりながら探しましたが、やはりキノコが少なく感じました。私はキノコの種類を増やそうと、朽木や木の幹などを探しました。

そしてキノコをある程度見つけ、集合場所にもどりました。集合場所では、徐々に採集をおえた人がもどりはじめたので、大きいビニールシートを広げて、集めたキノコを並べて池ヶ谷さんに同定してもらいました。池ヶ谷さんによって分類したキノコは42種もありました。その中には、食用とされるものもありました。私はその中のいくつかを持ち帰り、家で美味しくいただきました。